

第 12 回 企業誘致推進委員会

平成 28 年 2 月 5 日 午後 2 時から
信濃町役場 公室

出席者：浅野英彦副委員長、荻原一正委員、小林みち代委員、三沢孝男委員、和田副町長、高橋総務課長、松木建設水道課長、伊藤産業観光課長、事務局

1 開 会（副委員長）

これより第 12 回企業誘致推進委員会を開催いたします。

2 挨拶（副町長）

大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。
皆さま方におかれましては、町政全般に関しましてご理解ご協力いただいておりますことに御礼申し上げます。ご承知のとおり国も地方創生「まち、ひと、しごと総合戦略」を打ち立てる中、町としましてもみらい創生会議を開き、人口減少対策を基に信濃町版の総合戦略を立ち上げたところであります。その中で、移住定住促進につきましてはこの企業誘致に関わる部分が非常に多く、また、雇用促進にも繋がっておりますので皆様のお知恵をお借りしたいかと思っております。いずれにしましても本日の会議の中で、それぞれ貴重なご意見、情報交換をいただき、ますますの誘致促進のご協力をお願い申し上げます。

3 検討事項

事務局 検討事項（1）信濃町企業誘致条例の改正内容について説明

- ・情報通信事業者への補助を新設

検討事項（2）企業誘致の現状について説明

～誘致交渉を進めている企業のため省略～

検討事項（3）木質バイオマス利活用事業調査業務について説明

- ・地方創生先行型事業の概要
- ・先進地視察（北海道下川町）の報告

総務課長 地方創生事業について説明

- ・地方創生交付金について
 - ・持続可能な林業の六次産業 地域資源の活用について
- 信州ふるさとテレワーク推進協議会について

委員長 以上、説明いただいた内容に対し皆様よりご質問、ご意見等ございましたらお聞かせいただきたい。

副委員長 地域資源の活用計画について、町独自で考えたのか国で示した内容を参考として作られたのか。

総務課長 みらい創生会議の委員よりいただいたアイデアを基に町で持っている情報を組み合わせて作成したものです。

副委員長 独自のものなんですね。

総務課長 独自のものです。ただ、下川町でもモデル住宅的なものもやっておりますので、森林資源を活用するとなるとこうしたパッケージになってくる傾向にあります。

副委員長 下川町は実績を上げている一番のポイントはどのようなところか。

事務局 この地域については、行政というよりも住民危機感が非常に高く、商工会等の機関がシンクタンクとなっている。

総務課長 民間団体のクラスター研究会を発足して、現在はシンクタンクとなっております。それにあわせて役場職員のレベルがあがっており補助金を持ってくるのに長けている。当町の弱点として考えているのがシンクタンク的なものが域外でやっているものですからデータ蓄積が出来ない。そういう意味ではシンクタンクを自前で持つ、持たないでは大きく違ってくる。

副委員長 やはり、中心になっていただく人が重要で、行政だと担当が変わったりといろいろ大変です。以前の木下さんの講演会でも言っていたが自分たちで稼ぐという事が大切だと。

総務課長 補助金に頼るといのは一時的にはいいと思うが、その後自立させていくという事がないとなかなか上手くいかない。信濃町の場合はみらい創生会議の委員さんや金融機関、企業のみなさんと組みながら進めていく。

委員長 いろいろな分野で絡んでくる訳ですけど、これからは如何に活かしていくかが重要となってくる。それぞれ関係する皆さん、また、本委員の皆様にお知恵を拝借する中で進めさせていただければと思っております。

4 委員からの報告

委員長 各委員より報告事項等はございますか。

—なし—

6 閉 会

副委員長 これで第 12 回企業誘致推進委員会を閉会いたします。

閉 会 16 時 30 分